実地疫学専門家養成コースカリキュラム2012-2014

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
感染症疫学セミナー* ケーススタディを用い、現状に対応した参加型演習	初期研修								生物統計学セミナー		分子疫学セミナー		左記以外に、感染症対策トピックについて年間3～4回のセミナーを予定。 外部セミナーにも積極的に参加する。											
感染症集団発生事例 疫学調査		国内外での感染症集団発生事例調査に参加し、最終的にチームを率いることができることを目標とする。 （例）新型インフルエンザ事前対応事例、広域腸管出血性大腸菌感染症集団発生事例、薬剤耐性菌院内感染症事例　等																						
感染症サーベイランスの解析・評価		・感染症法対象疾患のトレンドを疫学的に解析 ・サーベイランスシステム自体を評価し提言を行う																						
感染症疫学研究の 実施 リサーチの計画・実施方法を修得する			個人・長期リサーチプロジェクト リサーチを計画・実行し、論文を作成する																					
感染症疫学情報の発信 学会発表・雑誌投稿を含む		週報・月報 学術雑誌、メディア等をレビューし、感染症のトレンド等を報告する その他：感染症の問い合わせ対応、他国のFETP研究会等での発表等 （例）国際TEPHINET会議、日本公衆衛生学会、日本感染症学会等																						
感染症疫学における 教育経験 運営及び講師として研修に参加、教材の開発							感染症危機管理研修会						初期研修講義						感染症危機管理研修会					
	上記のほか、依頼に応じて全国・地方研修会に講師として参加する																							

＊初期研修は2年間の研修の基礎となる疫学・統計学・感染症概論の他に、予防接種対照疾患・人獣共通感染症などの各論、感染症集団発生時のメディア対応などの実務に関する知識について国立感染症研究所にて研修を行う。感染症対策トピックセミナーでは、院内感染管理・国内外の感染症関連法規・リスクコミュニケーション等を予定している。